

暴力団情勢と暴力団排除運動について

▶ 危険な対立抗争事件

平成23年5月末より、山梨県内最大の暴力団組織が分裂・対立し、甲府市中心街や県内各地の祭礼会場などで縄張り争いによる小競り合いを発生させました。

これに対し、甲府市中心街では「甲府市中心街みかじめ料線切り同盟」の設立、市町村や祭典主催者の協力による「暴力団の関係する露店」の排除、山梨県暴力団排除条例の活用など、行政・県民・事業者が一体となって暴力団排除活動を行ったことが功を奏し、暴力団の資金集めの活動が制限されるとともに、暴力団員も約3割減少するなど、続いていた小競り合いも一旦は落ち着くかに見えました。

しかしながら、昨年11月以降、互いの組織に対する発砲事件が県内で相次ぐなど、対立抗争に発展しており、このような暴力団の悪質性・危険性は、県民のみなさんの生活と経済に直接的・間接的に大きな不安と脅威を与えています。

▶ 暴力追放「三ない運動+1」にご協力を!

山梨県警察では、暴力団による発砲事件はもちろん、あらゆる違法行為に対する取り締まりを強化・徹底していますが、暴力団壊滅のためには、県民のみなさんの理解と協力が必要不可欠です。

暴力団から被害を受けないため、また、暴力団による被害者を生まないためにも、暴力追放「三ない運動+1」を合い言葉に、実践をお願いします。

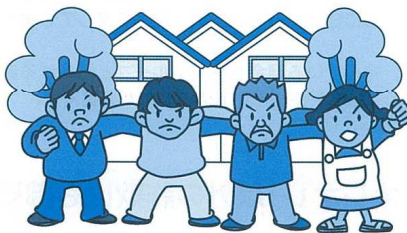


▶ 暴力追放運動が展開されています!

みんなの力で暴力追放!

暴力団の抗争事件に対し、地域総ぐるみの暴力追放運動が立ち上がっています。

4月には笛吹市で「暴力追放緊急宣言」、6月には甲府市で「暴力追放宣言大会」が開催され、市民・事業者・防犯団体・行政・警察関係など多数の方が参加し、安全で安心な生活をおびやかす暴力団に対して、「住民などが一致団結して暴力団を排除する」ことを力強く宣言しました。



笛吹地区暴力追放委員会 暴力追放緊急宣言



甲府市暴力追放宣言大会

県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します

山城地区安全推進委員会(甲府市)



山城地区安全推進委員会は、子どもが被害者となる事件が相次いだ平成17年の翌18年、自治会をはじめとする地域団体のメンバーが中心となり、子どもの見守り活動のための新たな組織として発足しました。

同地区は、人口の増加が著しい地域で、山城小学校は本年度生徒数が千名を超える県内で最大の小学校だそうです。

同会では256名の会員が活動しており、地区内を27のブロックに分け、ブロック長さんを中心となって子どもの見守り活動を行っています。毎年秋にはブロック長会議や「実践の輪を広げる集会」を開催して、より有効な見守り活動のために会員相互の意見交換や勉強会を行っているそうです。



また、山城小学校4年生が出演する音楽祭に招待されるなど、児童連との交流も見守り活動のやりがいに繋がっているとのこと。

同会事務局長の駒井さんは、「小さい頃、自分を見守ってくれた地域の人達に受けた恩を返しているだけだから苦にはならないし、地域で活動を認められることは、とてもやりがいになります」と話してくれました。

山城地区は新しい住民が増えている地区ですが、「子ども達の安全確保」のために、新旧の住民が協力し合うことで、新たな地域での交流が生まれているように感じました。

平成25年1月～6月の刑法犯認知件数減少!

自転車の盗難が減少しました

山梨県警察の発表によると、今年上半年(1月～6月)までの刑法犯認知件数は、平成24年の同時期と比較して、261件減少の3,434件となりました。

建物に侵入しない「非侵入窃盗」が大幅に減少し、まだ高水準の発生ではあるものの、自転車の盗難は大幅に減少しました。しかしながら、オートバイの盗難は、本年も増加傾向にあることから、引き続き、二輪車の盗難対策にご協力をお願いします。

侵入窃盗が増加しています!

住宅などの建物に侵入し、家財等を盗む「侵入窃盗」が昨年同時期と比較して大幅に増加しています。

特に、留守宅に侵入する「空き巣」については約3割、家人が寝ている間に侵入する「忍込み」については、約9割も増加しており、一般の県民が被害にあう可能性が高まっています。

暑い時期には、窓を開けたまま眠ったりすると「忍込み」の被害にあう危険性が高まり、起きた際に鉢合わせになれば、強盗に豹変する場合がありますなど、危険な犯罪です。

冷房を活用して、就寝時も鍵かけを励行するなど、被害防止に努めて下さい。

